

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ライセンスキーを得て下さい](#)

[ライセンスの譲渡および問題](#)

[キーに関する緊急事態](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco Secure UNIX ソフトウェアの各コピーが正常に機能するにはライセンスが必要です。このドキュメントでは、ソフトウェアのライセンス キーを取得するプロセスについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

ライセンスキーを得て下さい

Cisco Secure UNIX が購入されたりとき、白書 CD 袖の外部にユニークな 16 デジット数がありますおよび/または言うボックスの白い紙で**即時の処置を必要とします**。これは「proof-of-purchase number として動作します」。

ソフトウェアのためのライセンスキーを得るために、408 526-4323 にまたは licensing@cisco.com に E メールによって Cisco の認可部に UNIXシステムのために 16 デジット購入証明およびホスト ID をファクシミリで入れて下さい。

注各 UNIXシステムにユニークな 8 桁のホスト ID があります。システムのためのホスト ID を判別するために UNIXシステムのホスト ID を入力して下さい。

proof-of-purchase number およびホスト ID を入れるとき、ソフトウェアを実行するのに使用するよう 20 デジット 永久ライセンスキーを受け取ります。この永久ライセンスキーはここに示されているように最初の行の Cisco Secure \$BASE/config/CSU.cfg ファイルに、挿入する必要があります:

2 つの異なる UNIX ボックス (1 プライマリおよび 1 バックアップ) のための 2 つのライセンスキーを得ることができます。ライセンスキーはシステムの特定のホスト ID に結ばれます。従って、キーは別のホスト ID の UNIX システムに移動される場合はたつきません。

ライセンスの譲渡および問題

ライセンスキーはバージョン別ではないです、従ってソフトウェアが最初に認可されたときに) ソフトウェアが同じ UNIX システムに残る限り新しい Cisco Secure バージョンのために再使用することができます (同じホスト ID と)。

場合によっては、ライセンス 転送かこれからのプロセスは必要です。これらのシナリオを考慮して下さい:

- 最初に machine_A および machine_B のためのライセンスがありました、今 machine_C に machine_A ライセンスを転送する必要があります。購入証明は利用可能ではないかもしれませぬし、かもしれませぬ。
- machine_A をある時点で認可しましたが、machine_B のためのライセンスを得ませんでした。購入証明は見つけることができません。

Cisco の認可グループはまた購入証明の有無にかかわらずライセンス 転送を処理します。オリジナルの購入証明が利用できる場合、16 デジット数を入れて下さい、また意図されていた新しいシステムのホスト ID。オリジナルの購入証明が利用できない場合、発注が研究することができるように同様に多くの情報をと可能な限り提供して下さい。たとえば、販売注文 番号、発注 番号、SAS または SAU 契約 番号、古い Cisco Secure CCO ケース番号、名前、会社名および認可グループが発注を見つけ出すのを助けることができるその他の情報提供できます。

キーに関する緊急事態

Cisco Secure は有効なキーなしで一度に認証する 4 つまでのポート (4 人のユーザ) を実行できます。しかし、有効なキーなしでトラフィック量を認証するとき、メッセージ Cisco Secure ログに (記録 する設定されたら場合) 現われます。このメッセージは「誤って伝えられるプロトコルとしてルータで通常現れます」。条件はこれを引き起こす次のとおりです:

- CSU.cfg ファイルで No 鍵
- キーは CSU.cfg ファイルのそのホスト ID のために無効です
- CSU.cfg ファイルの期限切れのキー

非常時には、30 日間よい評価鍵は [Cisco のダウンロード 登録 \(登録ユーザのみ \)](#) によって得ることができます。この一時 キーは CSU.cfg ファイルに交換することができます。Cisco Secure サービスはここに示されているようにキーが変更されれば、再生する必要があります:

評価鍵が期間限定でただ有効であるので、まだ永久ライセンスキーを得る必要があります。パーマネントキーを得るとき、一時評価鍵を CSU.cfg ファイルから削除し、パーマネントキーを挿入して下さい。New 鍵を設定するためにサービスを再生して下さい。

関連情報

- [Cisco Secure ACS for UNIX に関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)